

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野の産品を、長野のデザイナーのデザインで元気に
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 長野国際友好協会 (長野市東後町 26-1-701)
事業区分	⑥のア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	604,214 円 (うち支援金: 361,000 円)

事業内容

平成30年10月果実酒等の産地表示基準の改定を見据えて、県内のブランド力を高めるために、長野らしくありつつ、外国人にも一層受け入れられる県産ワインのラベルデザインを考えるワークショップを開催。

「ワインラベルのデザインワークショップ
並びに交流懇親会」

開催日時：9月24日長野ホテル犀北館 62名
参加者：小西純二氏（進行役）、デザイナー、長野在住外国人、ワイナリー経営者、ワイン・デザイン業界関係者

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 参加者の満足度 90%
進行役小西純二氏のフレンドリーなリード、グループ討議の積極性、さらにグループ毎の発表や質疑の内容から参加者の満足度が極めて高かった。
- ② 開催後の継続フォローは、3ヶ月内に80%達成できる見込み。12月に予定している国際交流パーティーには、今回の参加者を重点的に勧誘し、更に絆を深めてビジネスチャンスの顕在化をすすめる。
- ③ 日本人と在住外国人の信頼関係が生まれ、長野産品の理解と評価が高まり、外国人にアピールする源泉となり得ることを確認できた。
- ④ 今回初めての企画に対して遠くからも参加していただいた（東京、上田、高山、塩尻、須坂、飯綱など）が、県産ワインのラベルデザインについてはいまのところ、全県的視点に立った取り組みの形跡は乏しい。



【目標・ねらい】

- ① 参加者の満足度 80%
- ② 開催後のフォロー率 80% (3ヶ月内)
- ③ 長野の産品を外国人にアピールする源泉となり得る事を確認できる。
- ④ 長野ワインのシェアアップのために、当協会×ワイン業界×長野県の連携強化が促進される。

※自己評価 【 B+ 】

【理由】

- ・ファシリテーターの見事な運営により参加者の満足度は極めて高かった。
- ・参加人数は予定を下回ったが、参加者は夫々の参加区分（職種）に於いて、実力・経験・志・向上心が高いレベルの人達が多数参加し当日の大きな成果に寄与した。
- ・今回の討議内容、各グループの意見をフィードバックする予定で、次への期待と信頼関係が高められた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回のイベント(9/24日)がブドウの収穫・仕込みの繁忙期と重なったため、ワイナリー関係者の参加が少なかったため、改めて関係者と協議のうえ対策を講じていきたい。(例:ワイナリーを中心としたイベントなど)当協会では国際交流事業を恒常的に行なっているため、今後の事業とリンクさせて、関係者の交流機会をつくり、ビジネスチャンスの創出に努める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある